

# 消防の お知らせ

石 神 井 消 防 署  
石 神 井 消 防 団  
石 神 井 防 火 防 災 協 会  
石 神 井 災 害 予 防 協 会  
石 神 井 防 火 管 理 研 究 会

No. 210 令和3. 2

## 3月1日~ 3月7日 春の火災予防運動

令和2年度 東京消防庁防火標語

もう一度 確認 安心 火の用心

作者 菅野 珠加さん  
江戸川区在住

### 住宅用火災警報器の点検と 本体の交換をしましょう!

住宅用火災警報器は、火災を早期に発見して知らせてくれる機器です。電池切れや電子部品の経年劣化で作動しなくなる可能性がありますので、定期的に作動点検をしましょう。

また、住宅用火災警報器の耐用年数は概ね10年です。設置から10年を目安に本体を交換しましょう。



#### 定期的な点検を!

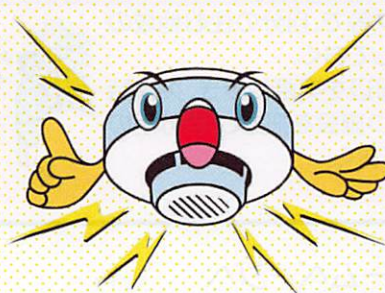
- 作動確認は、本体のボタンを押すか、付属のひもを引いて点検します。正常な場合は、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
- 音声や警報音が鳴らなかった場合は、電池がきちんとセットされているか確認しましょう。



※一般的に点検の際の音声は自動で停止します。

#### 本体の交換は設置から10年を目安に!

- 住宅用火災警報器の耐用年数は概ね10年です。設置から10年を過ぎているものは、電子部品の寿命等による故障により、火災を感知できなくなる可能性が高くなります。ご自宅の住宅用火災警報器の設置年月を確認して、機器本体の交換をしましょう。



※廃棄する場合は、お住いの地域のルールに従って適正に廃棄してください。

回 覧 (裏面もごらんください)



# 東日本大震災から10年!



## 地震に対する 10の備え

多くの尊い命が失われた「東日本大震災」からまもなく**10年**が経ちます。  
あなたの「地震に対する備え」は大丈夫ですか?

### 身の安全の備え

#### 家具類の転倒・落下・移動 防止対策をしておこう

- けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置しておく。
- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。



#### けがの防止対策をしておこう

- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐ使える場所に置いておく。
- 散乱物でけがをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。



#### 家屋や塀の強度を確認しておこう

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強しておく。



### 初動対応の備え

#### 消火の備えをしておこう

- 火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置き(溺れ防止のため子どもだけで浴室に入れないようにする)をしておく。



#### 火災発生の早期発見と防止対策をしておこう

- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- 普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- 電気に起因する火災の発生を抑制するため、感震ブレーカー(分電盤型)などの防災機器を設置しておく。



#### 非常用品を備えておこう

- 非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- 冬の寒さなど、季節を考慮した用品を備えておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。
- スマートフォンの予備バッテリー(PSEマーク付き)など、必要な電源を確保しておく。



### 確かな行動の備え

#### 家族で話し合っておこう

- 地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 台風等の風水害が同時期に発生した場合を想定しておく。
- 普段のつき合いを大切にするなど、隣り近所との協力体制を話し合っておく。



#### 地域の危険性を把握しておこう

- 自治体の防災マップ等で、自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。
- 自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握し、自分用の防災マップを作っておく。



#### 防災知識を身につけておこう

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- 消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。
- 大きな地震の後に同程度の地震が発生する可能性があることを理解しておく。



#### 防災行動力を高めておこう

- 日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身に付けておく。



詳しくは東京消防庁ホームページへ

東京消防

検索



東京消防庁ホームページや  
東京消防庁公式アプリへは  
こちらからアクセスできます。



#### 問合せ先

石神井消防署 (3995)0119 下石神井5-16-8  
関町消防出張所 (3920)0119 関町北1-5-14  
大泉消防出張所 (3925)0119 東大泉6-34-44  
大泉学園消防出張所 (3978)0119 大泉学園町1-7-11  
石神井公園消防出張所 (3904)0119 石神井町2-16-1